



上越でかがやく若者たち

■問合せ…総合政策課（☎025-520-5624）

市の若者向け支援制度も活用いただきながら、市内でまちの活性化やにぎわい創出などに取り組んでいる、若者や団体を紹介します。

活動を始めたきっかけ

学生時代に訪れた広島県尾道市で、自らの手でキャリアを築きあげていくたくさんの人と出会ったことがきっかけです。みんなが自分のできること、やりたいことを形にし、それぞれのやり方でまちとの関わりを持つ。尾道ではまちに「共助」が溢れていました。自分もこのようなキャリアを歩みたい、地域のコミュニティをきっかけとして、共助が溢れるまちをつくり、そ



たてよこ書店
ほった こうき
堀田 滉樹さん

2022年12月に東本町の空き家を改装した書店をオープン。近隣の小学生との活動や、朝市への出店など本を通じて、さまざまな人が憩える場の提供や交流の機会をつくる取り組みを展開している。

ここで暮らしていきたいと思い、活動を始めました。

活動の目標

書店としては、古本が好きな人のよりどころになることが目標です。まちの文化的拠点の一つになれたらと思っています。また、朝市への出店など、上越周辺エリアをフィールドとしたさまざまなプロジェクトを通して多くの人がまちに関わる機会をつくり、「自分たちの暮らす

まちは自分たちでつくっていく」という心構えのもと、心地よい日常をつくっていくこと、つくるための営みを続けていくことが目標です。

同世代の若者に伝えたいこと

「自分たちが暮らすまちは自分たちでつくっていく」、「自分がつくりたい暮らしは自分でつくっていく」。そんなマインドで、一緒に何か取り組みができたらうれしいです。見かけたら、遠慮なくお声がけください。



朝市出店時の様子

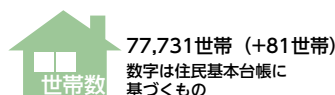
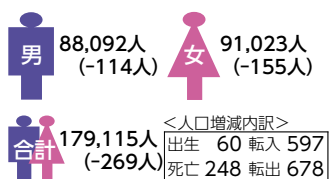
広報対話課から

（☎025-526-5111）

「広報上越7月号」は、6月23日㊥・24日㊦に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

令和7.5.1現在。（ ）は前月との比較



表紙のことば：もっと楽しく！みんなで支える子育て

子育てについて、気軽に相談したり保護者同士で交流したりできる場の一つ、「いたくら子育てひろば」にお邪魔しました。スタッフと友達のようにお話ししている親御さんの様子がとても印象的で、市内各地にこうした場所があるのは、とても心強いなと感じました。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。